

能代市二ツ井地区の 『河川防災ステーション』計画が承認 ～米代川に初めて防災ステーションが整備されます～

- 平成28年3月28日付で「米代川二ツ井地区河川防災ステーション」が承認されました。
- 米代川で初めての河川防災ステーションとなります。
秋田県内では、雄物川十文字地区(横手市)、子吉川荒町地区(由利本荘市)に次ぐ3番目の河川防災ステーションです。
- 米代川は、平成19年9月や平成25年8月洪水において、漏水や堤防の法崩れ等が発生し、下流部の能代市から上流部の大館市にかけて広い範囲で水防活動が行われています。
- 今後は、二ツ井地区河川防災ステーションが災害時の水防活動拠点として機能するとともに、通常時は、隣接して整備される「道の駅ふたつ」との一体的な活用により、地域の新たな交流・憩いの場として期待されます。

◇米代川二ツ井地区河川防災ステーションの概要は別紙のとおりです。

◇『河川防災ステーション計画の承認』については、国土交通本省においても記者発表しています。

<発表記者会:秋田県政記者会、能代市記者クラブ、北秋田市記者クラブ、大館市記者クラブ>

【問い合わせ先】

国土交通省 東北地方整備局 能代河川国道事務所
秋田県能代市鹹淵字一本柳97-1 TEL 0185-70-1001 (代表)

副所長 (河川)
工務第一課長

こん 今	の 野	ひろ 裕	み 義	(内線204)
さ さ	き 木	よし 良	ひろ 浩	(内線311)

ふたついのしろ
「二ツ井地区河川防災ステーション」(直轄・秋田県能代市)
 のしろ

のしろ
 市町村名： 秋田県能代市
 対象河川： 米代川水系 米代川

1. 概要

二ツ井地区河川防災ステーションは、米代川における災害時の緊急復旧活動を行う上で必要な土砂やコンクリートブロックなどの緊急復旧用資材の備蓄、災害対策車両基地、ヘリポート等の整備を行うとともに、能代市が水防団の待機場所などになる水防センターを設置することにより、災害対応の拠点となる施設です。また、周辺住民の一時的な避難場所にもなる予定です。

平常時は、隣接して整備される予定の「道の駅ふたつい」と一体的な活用により、地域の交流・憩いの場ともなる予定です。

2. 整備内容

河川防災ステーションは、計画堤防高以上に盛土したうえで、以下の整備を行う予定です。

- ・緊急復旧用資材(土砂、根固めブロック等)の備蓄、災害対策車両基地、ヘリポートなど
- ・水防センター(能代市が整備予定)

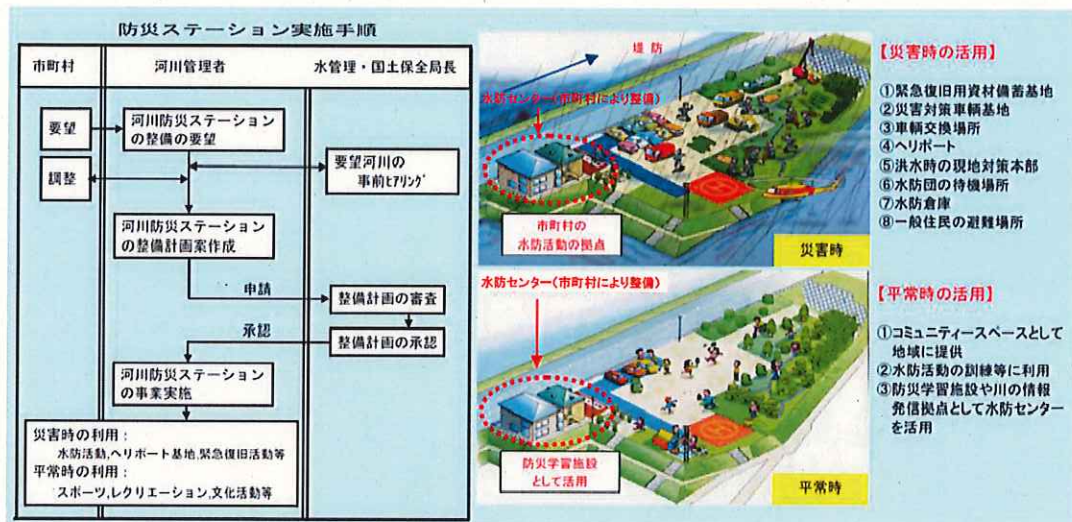


※現時点のイメージです。今後変更となる可能性があります。

河川防災ステーション

「河川防災ステーション」は、水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保するものです。洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々のレクリエーションの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として大いに活用される施設です。国土交通省では、今後も地方自治体と連携を図り計画的かつ積極的に整備していきます。

※ニツ井地区河川防災ステーション(米代川：能代市)は、十文字地区河川防災ステーション(雄物川：横手市十文字町)、荒町地区河川防災ステーション(子吉川：由利本荘市)につぐ、秋田県内3番目の防災ステーションとなります。



H27.9関東・東北豪雨における河川防災ステーションの活用事例 (北上川水系江合川：涌谷河川防災ステーション)

■ H27.9関東・東北豪雨において、江合川の水位が上昇し、堤防を越えそうになったことから、涌谷河川防災ステーションの備蓄土砂で土のうを製作し、堤防上に積むことで越水を防ぎました。

